

# よなごびと

| 第80回 |

おもちゃ屋 SUN 代表

そね けんたろう  
**曾根 健太郎** さん



”  
それぞれに

木の良さを感じてほしい

“

NPO法人ひまわり倶楽部の木工チーム「おもちゃ屋SUN（サン）」。障害者就労支援の一環で2018年に結成し、木製のおもちゃなどを製作してきましたが、いよいよ7月に店舗を兼ねた複合型木育施設を、皆生通り沿いにオープンします。

「木工製作を始める前は作業に対する利用者のモチベーションが上がらず、笑顔も少なかった」と代表の曾根さんは振り返ります。どうせなら自分たちが好きなことをやろうと話し合ったところ、共通したのは「子どもが好き」という気持ち。ままごとキッチンを製作してイベントで販売すると、子どもたちが殺到し、開始10分で買い手がつきました。「製作に携わった利用者

さんが感動して泣いていて、これだと思った」と、木工製作を本格的に開始しました。

保育施設などからニーズを聞いて製作を重ねる中で生まれたのが「どうぞのいす mini」。ロングセラー絵本の『どうぞのいす』に出てくる椅子のミニチュア版を、出版社の協力のもと製作し、人気を博しています。

現在、製品には県内産木材の端材を利用しており、木育にも注力。「それぞれに木の良さを感じてほしい」と、新施設では木製おもちゃで実際に遊べるほか、工房を見学することもできます。2階には保育士が常駐し、親がコーヒーを飲みながらくつろげる場所も設けるなど、親子が楽しめる居場所をめざします。



子どもたちが安全に遊べるよう、心をこめて丁寧な作りかけ



新施設完成イメージ図

「くつろいでほしい」という思いから、2階の遊び・木育スペース、くつろぎスペースは予約制。1歳以下は無料、2歳以上は一律500円で利用できる。オープンの日など、くわしくはホームページをご確認ください。